

平成27年度一般会計予算など37議案並びに1報告を審議

平成27年第1回(3月)定例会は2月24日に招集され
3月20日までの25日間の会期で開催されました。

平成27年度一般会計予算 340億8846万円

対前年度比7.8%増で過去最高

平成27年度一般会計予算の審査にあたり、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、歳入歳出すべてにわたり、執行部に詳細な説明を求め審査を行った。

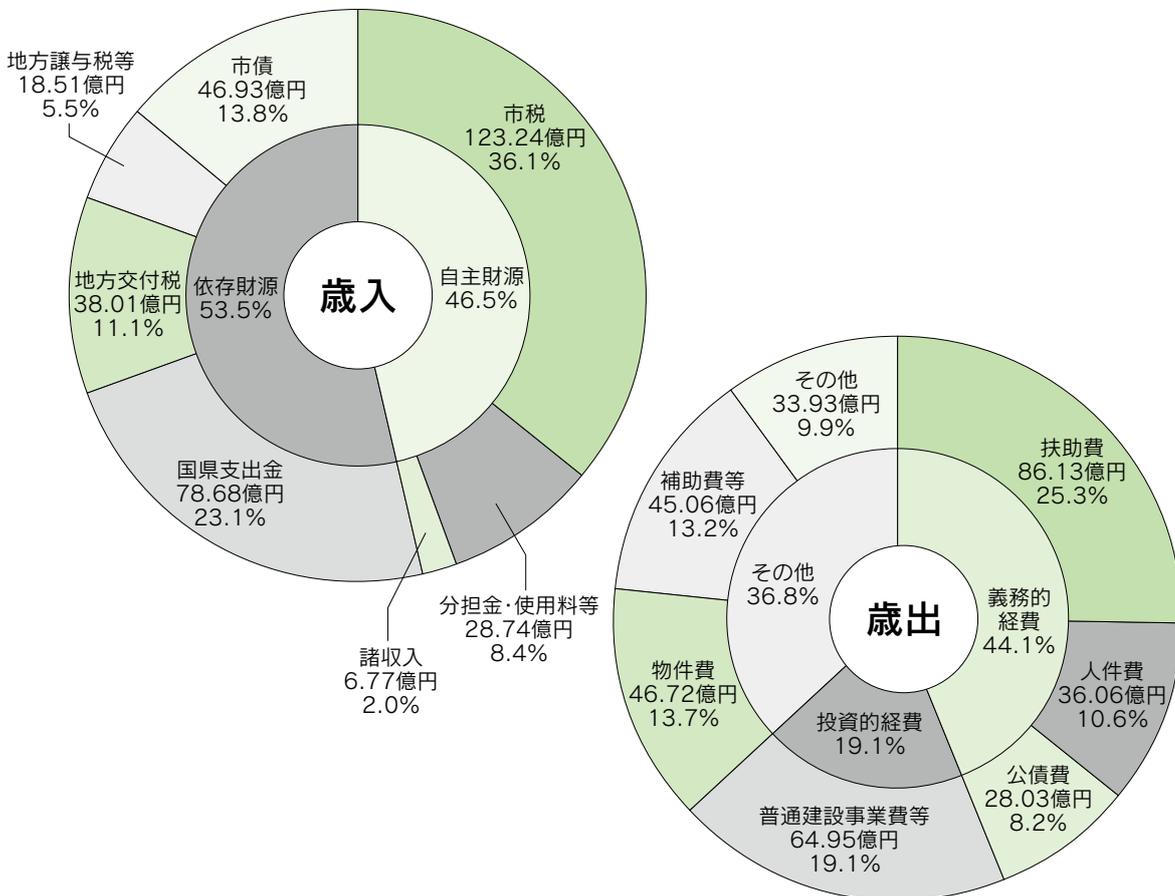
【歳入】

自主財源の根幹をなす市税は、給与所得の伸び等により対前年度比1.1%増の123億2380万円となり、地方交付税は、国の地方財政計画を反映し4.2%減の38億1288万円となっている。

市債(市の借金)の起債額は、大幅増となった昨年に引き続き、春日那珂川水道企業団への出資金の増や西鉄春日原駅周辺整備事業等で19.3%増の46億9280万円となり、これにより、平成27年度末の市債残高は、約31.3億円となる見込みである。

【歳出】

義務的経費のうち、扶助費は、障がい者関係給付費や生活扶助費の増などで約4億円の増額。また投資的経費は、総合スポーツセンター建設、春日東中学校改築などの事業費の増で33.3%増の64億9539万円となっている。



新たに始まる事業

- 〓 市営住宅の老朽化対策
- ◎ 欽修市営住宅建替事業
- 〓 生活保護に至る前に
- ◎ 生活困窮者自立支援事業
- 〓 安心の子育て環境へ
- ◎ つくしんぼ第2クラブ舎新設事業
- ◎ 子ども子育て支援新制度
- 〓 渋滞解消へ
- ◎ 長浜太宰府線整備事業
- 〓 生涯学習の推進を
- ◎ 移動図書館車両整備事業
- ◎ 春日北小学校屋外運動場照明施設整備事業
- 〓 文化財の保護を
- ◎ 須玖岡本遺跡整備事業

須玖岡本遺跡▶



◀長浜太宰府線

平成27年度春日市当初予算における各会計の予算額は、以下のとおりです。

	(当初予算額)	(対前年度比)
一 般 会 計	340億8846万円	+ 7.8%
国民健康保険事業特別会計	124億5514万円	+ 18.3%
後期高齢者医療事業特別会計	12億6512万円	+ 9.0%
介護保険事業特別会計	60億1952万円	+ 8.0%
下水道事業会計	41億1849万円	▲ 2.3%
全 会 計 合 計	579億4673万円	+ 9.1%

教育委員会制度改革
教育長は市長が任命

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、本市でも教育長のさまざまな職務に関する条例の改正が行われた。

これにより、これまで通り教育の政治的中立性は担保しつつも、教育長と教育委員長が一本化され、重大案件に迅速に対応できる危機管理体制の構築が図られることになる。

なお、今後は教育長の罷免の権限も市長になることから、この任命に同意する議会もこれまで以上に慎重な審議が求められることになる。

介護保険料改正へ

平成27年度から平成29年度まで介護保険給付に対応するため介護保険料の改正が行われた。

今回の主な改正点の一つは、所得水準に応じてきめ細やかな保険料設定を行うため、保険料の区分をこれまでの10段階から13段階に増やし、保険料を改正する。

これにより保険料は基準額の場合これまでの57600円(第4段階)から67200円(第5段階)に引き上げられる。詳しくは市報等で掲載される。

子育て応援券支給事業始まる!!

平成26年度国の補正予算の可決に伴い、国から交付される「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型、地方創生先行型)」を活用し、交付金の目的を速やかに達成するため、本市においてもさまざまな事業が展開されることとなる。

「地域消費喚起・生活支援型」の事業としては児童手当を支給する世帯を対象とする「子育て応援

券支給事業」や例年好評を得ている「プレミアム付き商品券助成事業」を行う。

「地方創生先行型」の事業では商工会と連携して創業を支援する「創業インキュベータータウン構想事業」や、これまでも要望の多かった「不妊治療費の助成事業」などを行う。

これらの補正により、平成26年度一般会計予算の総額は歳入歳出ともに333億6721万円となる。